

第2回大府市男女共同参画審議会会議録

日 時	令和6年3月22日（金） 午後1時30分から2時30分まで
場 所	委員会室1
出席者	委員：笠松千尋、加藤晃、伴浩人、田中剛 田端美知子、磯部法子、田中陽子 助言者：岸智子 事務局：健康未来部長、子ども未来課長、若者女性活躍係長
欠席者	なし
傍聴人	なし

（敬称略）

1 会長あいさつ

2月の市議補選は二人とも女性である。このことは市民にも次代を担う子ども達にも良い影響を与える。また、愛知県ファミリーシップ制度が開始したり、札幌高裁での同性婚に関する判決が出るなど、性的少数者への理解が深まっている。

2 議題

議題（1）おおぶ男女共同参画プランⅥさんかく！おおぶ令和6年度計画について
事務局：主な変更点を説明。

「性的少数者の人権尊重」については、市職員研修に位置付けることとしている。令和5年度の実績ではあるが、子どもステーションでのパパ交流会の参加者が増えているのは、コロナ規制が無くなったこととリピーターがいることが要因。また、児童センターではパパが得意そうな玩具や、一緒に遊べる大型室内遊具を用意し、来館を促している。

また、あいち女性輝きカンパニー認証は令和6年度目標を40社とし、令和7年度50社とした。

保育園は大府保育園の土曜日開園を午後7時まで延長とした。また、令和7年度には1園増加する予定である。また、放課後クラブでは試験的に委託事業である大府放課後クラブで夏休みの昼食提供を行う。

他にも、産前産後サポーター制度や産後ケア事業、不妊治療の充実、子ども家庭センター設置などを行っていく。

委員：市職員研修は石ヶ瀬会館で行われるが、職員全員が参加するのか。

事務局：希望者が参加する。一般の方々とともに受講することにも意味があると考えている。

会長：企業における女性の活躍についての現状はいかがか。

委員：男性上司向けの研修などを実施している。また、ダイバーシティ研修も実施

している。こえは性的少数者に関してではないが、少数派の意見を尊重するといったことを学ぶ研修である。

会長：学校ではいかがか。

委員：小学1年生の黄色い防止について、男児はキャップ、女児はハットで分かれていたが、今はそれぞれが選択できるようになった。

会長：選択するのは本人か、保護者か。

委員：特に決めてはいない。

会長：保護者と子どもの間で話合いの機会が持てるのは好ましいと考える。

委員：最近の企業の動向として、セクハラに性的少数者への配慮の要素が盛り込まれてきている。

委員：事業所内保育所には補助金があるのか。

事務局：地域の子どもを受け入れるといった条件に合致すれば、補助金の対象となる。

委員：病院のような公共性の高い事業所には（保育所が）設置されることがあるが、一般の事業所にもあるのだろうか。

事務局：企業主導型保育という制度がある。

委員：女性の登用率について、充て職委員が多いと女性の登用率が上がりにくい。一般公募を増やすのはどうか。

事務局：できるだけ充て職ばかりにならないようにしているが、国の制度であると、変えられないことがある。

委員：産前産後サポーター制度の利用の手ごたえはどうか。周知方法は。

事務局：母子手帳交付時、広報、ウェブサイトで周知をしている。リピーターが多い。

会長：指標のなかで、自治会の組長の女性割合が低くなっているが、いかがか。

委員：組長は正副で80名程だが、ほとんどは夫の名前である。実際に活動しているのは女性である。自治区などが主催するサロンやパトロールでは、15名中5名の女性が活動してくれている。

委員：自治会の役員などでは、男性が出てくることが多い。面倒くさいことは男性に任せてしまう点があるのではないか。子ども会が減少しているが、子育てに参加する男性は増えているが、子ども会は減っているのも課題である。

助言者：ダブルケアの場合、保育園に入りやすくなるということはあるのか。

事務局：入園についてはケースによる。福祉総合相談室などでは、複数のサービスの利用の仕方や調整などの相談に乗っている。

委員：女性登用率について、建築系などが低い。

事務局：建築系の審議会などは充て職では男性が多い。子育て部門などでは女性が活躍していることが多いため、女性委員が多くなっている。

助言者：認証制度等について、愛知県ファミリーフレンドリー企業認定は年々認証レベルが上がっており、申請件数が減っていると感じている。

事務局：県の制度ではあるが、項目の種類を増やすなどし、取り組みやすくしてい

る。

委員：自分の所属先も認証を受けている。取組みやすい。

3 その他

大府市パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度について

事務局：申請があった。問合せは少ない。県内自治体で連携協定を締結し、転出入時の手続きが簡素化できるようにしている。また、愛知県ファミリーシップ制度と行政サービスの相互利用を行っている。

女性デジタル人材育成基礎講座の実績について

事務局：全3回の講座は好評であった。次年度は石ヶ瀬会館での女性の起業応援セミナーとして実施するなかで、ネットショップ開設などの講座を実施していく。

あいち女性輝きカンパニー認証企業について

事務局：愛知県ファミリーフレンドリー企業や市の働きやすい企業表彰を受賞している企業を中心に働きかけをしていく予定である。

助言者まとめ：事業所内保育所や産前産後サポーター制度、性的少数者への理解講座など新しい制度や取組みが多くある。ぜひ周知を徹底し、一般の方が利用できるようにしていただけたらと思う。

部長あいさつ：産まれる前からの子育て支援を始めている。子ども会は異年齢のつながりができる貴重な機会と考えている。「こどもどまんなか」宣言をしたこともあり、子ども会も含めて市の事業を広く知っていただけたらと思う。